

一緒にしましょう コミュニティづくりを!

中野ふくし倶楽部通信

「中野ふくし倶楽部」は、主に中野区に暮らす人々の福祉の向上と子どもたちの豊かな育ちに貢献することを目的としています。

NPO 法人 中野ふくし倶楽部
 発行責任者 田中芳樹
 中野区中央 4-53-7 YHNビル 101
 TEL 03-3384-5616
<http://www.nfcaozora.org/>

いまだきの若者の気質と条件

そうだったんだ！ヒントもらった！ 後継者づくりの種、まいていこう！連続講座



田中悠さん

町会でも、市民団体でも、頭を痛める後継者づくり、今回の連続講座はここに焦点を当てました。
 中野で生まれ、桃三、九中で育った民主青年同盟中央委員長の田中悠さんのお話を 22 人の方が聞きました。



若者とどう結びつくか

まずは若者とどう結びつくか。「いまだきの若者には膨大な多様性とジャンルがある」としつつ、その中から三つの問題に光を当てました。①社会貢献意識、②異常な働き方への気づき、③戦争への不安と危機感。3年越しで暖めた決心を持って被災地ボランティアに参加した青年、「笑顔」を採点し時給から 10 円づつ引くというひどい労働実態、秘密保護法に反対して立ち上がる学生の感動的な発言などが紹介されました。

若者をどう育てるか

もうひとつの問題は若者をどう育てるかです。熟年世代とは違う教育を受け、違う生活空間で生きてきている青年たち、「まず実務を覚えてもらう」「早く戦力になってくれ」という性急な育て方は禁物。学習と議論を重ね、現場に向き合ってもらふことの大切さ。京都の自治体労組が「カウンターを越えよう」を合言葉に住民の中へ入っていった経験、宮城の労組が同じように苦しむたくさんの非正規労働者を救う闘いだと位置づけてがんばった例などが紹介されました。

集団的な人間関係を育む機会が少ない現代の青年たち、成長を支える温かい励ましと、異なる意見をぶつけあえる民主主義的空間をつくることの大切さ。

若者とつながるツール

若者とつながるツールの問題もあります。家にほとんど居ない若者との連絡は、SNS(ソーシャルネットワーク)のアカウントを教えあうことから始まる。「学生無料」と一言書く工夫、「憲法改悪反対」と直裁に言うのではなく、「命と自由のために」というキャッチコピーを工夫した経験などが紹介されました。

新鮮な驚き、たくさんのヒント

現代若者が置かれている条件への新鮮な驚き、青年たちを温かく迎えるための接し方の工夫など、たくさんのヒントをもらいました。

参加者からは、「いつかは参加してくれるけど、長続きしてもらうにはどうしたら？」などの疑問も出されました。熟年世代から「私はこんなふうに生きてるよ」というスタンスで接してもらふなど、包み込むように粘り強く働きかけることの重要性が語られました。

この講座に特別な感慨を持って参加された方がいました。田中悠さんの小学校3,4年の担任だったN先生です。「子どもの頃も優しい子でしたが、温かく柔らかく包み込むような話に胸がいっぱいになりました。いまだきの若者について見直しました。私も頑張らなくてはね」

認知症の人も 2月19日(木) ふつうに暮らせる社会への道

「認知症の人と家族の会」代表理事

高見国生さん

認知症の人と家族が、励ましかけて歩いてきた 35 年、認知症の人をも人として尊重される社会をめざす思いと歩みを語ります

午後1時30分開場 2時開演
 なかの芸能小劇場にて 参加費:500円

どなたでも参加できます
 老後の心配、介護での悩み、
 認知症の方への対応などで
 お困りの方はぜひ

介護の仕事 果たせなかった両親の介護が原点に 苦勞とやりがい

あおぞらヘルパー 村田 由希子

私がヘルパーになった動機は、父の入院でした。当時、3 週間ほどで病院から施設へと強く勧められ、いろいろな所を探しましたが見つかりませんでした。その頃中野区でヘルパー3 級講習を受講し、自宅で介護することに決め、往診と訪問看護を手配し、準備している時に退院の 2 日前に亡くなりました。その後、ヘルパー 2 級を取得し、両親にしてあげられなかった介護への思いが、今ヘルパーをしている原点かもしれません。

ご本人と相談しながらの食事作りは、栄養士の資格が役立っています。徐々に元気になられ笑顔でお話しができるのはとても嬉しいものです。好評なメニューは利用者さんによって何品かあります。「食」は人に良いと書きます。食べ物は健康の源。自分の健康を自分で守りながら、心健やかに暮らすことが何より大切だと思います。

市民オンブズパーソン中野

政務活動費の領収書全面義務付けへ

23 区では中野区だけだった「1 万円未満の領収書は不要」という特異なルールが廃止されます。今年 4 月から領収書は 1 円から義務付けられることとなります。かねてから市民オンブズパーソン中野が問題にしてきた政務活動費の領収書問題は、一定の改善をみることになりました。

しかし、公開方法など本当に区民にわかりやすい形にするためには、さらに運動をすすめなければなりません。

政務活動費訴訟の初公判

第1回公判—1月29日午前10時45分 東京地裁 703号法廷、裁判長、判事二人が入廷。

八坂弁護士が提訴にいたった経過を被告側の提出書類を参考にしながら5分ほど発言しました。「それでは次回は…」と、わずか8分で終わりました。次回3月17日(火)の傍聴をお願いします。

NPO法人 中野ふくし倶楽部
あおぞら在宅介護支援サービス
03-3384-5616

介護保険はどうやって使う？ どうすればヘルパーさんを頼めるの？
こんなこと頼んでいいのかしら？ 認知症の方への対応は？
介護のことなら何でもご相談ください

〒164-0011 中野区中央4-53-7

お元気ですか？

理事長 大畑 きぬ代

1月30・31日と東京でチャイルドライン全国エリア会議が行われました。昨年2月9日に続き今年も雪。365日16時～21時まで全国どこからでも繋がる子どものための電話＝チャイルドライン。「子どもの最善の利益」(子どもの権利条約第3条)のために18歳までの子どもがかけられる電話。名前は言わなくて良い、一緒に考える、切りたくなったら切っている、秘密は守る、と子どもとの約束で成り立っている。今、フリーダイヤルになり、その「質」が問われています。

「チャイルドライン中野」は開設から12年、2014年1年間で2174本を受けました。全国では年間20万本の電話を受けています。「そのこと、先生やお母さんに言える?」「話せないからチャイルドラインに電話してんじゃんか。ガチャン」と切れる。子どもが主人公。父・兄に懂れて「自衛隊に入れることが決まった。今日はお礼を言いたくて」と報告をもらう。「頑張ってるね！君ならできるよ」と励ました…。「よかった！おばさんは嬉しい。だけど戦争に行かない道を選んでね。災害救助か、楽団での活躍を望んでいるわ」と話す。

一期一話、出会いから始まる子どもの未来。



ありがとう 2014 ジャズ&ディナー

90 人の方に参加をいただき、年の瀬の楽しいひとときを過ごすことができました。

中野ふくし倶楽部日誌

- 11月 30日 市民オンブズパーソン総会
- 12月 19日 ジャズ&ディナー2014
- 12月 25日 第6回理事会
- 1月 17日 あおぞら新年会
- 1月 22日 学習と交流の連続講座
- 1月 27日 第7回理事会
- 1月 29日 政務活動費訴訟公判